

名古屋市中志段味 農地埋め立てについて

私たちは「生きもの係」と「環音」と申します。日本の水田で生きものを調査・学習し、田んぼの祭り等 伝統文化行事を行う市民団体です。そうした私たちの活動に提供くださっていた名古屋市の農家の田んぼが埋め立てられるという事件が発生しました。状況をご理解頂き、一人でも多くの人にお知らせいただければ幸いです。



江戸時代から続く田んぼ。機械は入れず仲間で手植えしていました。
土砂の下にはまだカエル達がいるはずです。

《事件詳細》

内容：事前通告・警告・工事承諾書なしの農地埋め立て

日時：平成20年12月18日午前8時から12時にかけて

執行：名古屋市中志段味特定土地区画整理組合および名古屋都市整備公社/重機10台以上(※1)

場所：名古屋市中志段味の愛知県エコファーマー認定農家の農地合計3977.61平方メートル



◆貴重な生態系“絶滅危惧田んぼ”と呼ばれた地

農地は名古屋市長が認めた認定農業者(※2)のもので、江戸時代から続く専業農家。農地には絶滅危惧種を含む貴重な生態系(※3)が確認されています。名古屋市内では他に例のない貴重な場所であり、環境学習や農業体験、生き物調査研究が行われていました。田んぼの一部には湧

き水が湧いており、名古屋市のレッドデータにも直接大きな影響を与える重要な場所です。

◆埋め立て作業時の農地状況

農場主は土地区画整理事業からの立ち退き要求に合意しておらず、名古屋市へ審査請求書を提出、その返答を待っている状態でした。作付けは続けられており、今回の埋立地には麦がまいてありました。「生きもの係」は当農地で絶滅危惧種を含む生物調査をしている最中でした。「環音」は2009年度の当農地での文化事業「歌う田んぼの会」に向けて準備をしている最中でした。



麦の生長を楽しみにしていた農地。江戸時代から受け継がれた作り土がはがされる

◆「工事停止」と「原状回復」の命令

朝 8 時に始まった工事作業は、農場主の「工事中止」の訴えを聞き入れず進行し、農場主は立入禁止看板より奥へ入る事を許されませんでした。

名古屋市住宅都市局の職員（※4）は、8日11：45頃に現場に駆けつけ、「工事停止」と「原状回復」の命令を出しましたが、工事が即座に止まる事はなく、工事が停止したのは12時頃でした。「原状回復」の命令に基づく作業は現在のところ行われておらず、約束もされていません。区画整理組合を指導する立場にある名古屋市住宅都市局は、今回の埋め立てについて知らされていなかったということです。



◆ご理解ご協力をお願いいたします。

農場主は、いつ更なる埋め立て工事が強制されるかが心配で農地を離れられず、また、耕作地も破壊されたため、日常的な業務と生活に支障を来しています。このような不法行為が他地域でも繰り返される事がないよう注意と対策が必要です。

また、一刻も早く「原状回復」の作業を開始し、絶滅危惧種を含む生き物を救出する必要があります。埋立地周辺にも貴重な生態系が次々と発見されつつあります。今後も生物調査・開発の環境アセスメントが必要です。

つきましては状況をご理解いただき、事態改善のためにも、一人でも多くの方にこの件をお知らせいただきたく、また、COP10（※5）開催地・名古屋市の都市開発における、健全な発展のためにご協力いただきたく、お願い申し上げます。農地情報・写真等は自由に使用していただいて構いません。写真データ：<http://album.yahoo.co.jp/albums/19581/photos/>

下記各関係者連絡先に、どうぞクレームではなく、未来の開発のあり方に繋がる「思いやりのあるメッセージ」を届けてください。なにとぞよろしくをお願いいたします。

《関係者連絡先》

◎名古屋市 市民の声窓口：shimin-no-koe@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp

◎名古屋都市開発公社：<http://www.nup.or.jp/06/0602.html>

◎中志段味土地画整理組合：Fax 052-736-5031

◎UNY グループ：customer@uny.co.jp

（ユニーは区画整理後に新規店舗をオープンする予定です。環境に対応したお店作りに努力し、地域をリードしている企業です）

※ 1 ブルドーザー7台以上・ショベルカー3台以上・ロードローラー1台以上

※ 2 農場主：野田輝己 名古屋市守山区中志段味沢田 777 電話 052-736-3205

愛知県知事認定エコファーマー 名古屋市長認定農業者 学校や各団体の田植え体験、芋掘り体験、ワラジづくり、注連縄づくりなども行う。江戸時代から続く。

※ 3 キツネ・イタチ・トノサマガエル・ダルマガエル・赤とんぼ・イトトンボ・タガメ・メダカ・シャジクモ・イチョウウキゴケのほか、オオタカの餌場となっていた

※ 4 名古屋市住宅都市局 開発調整部 安田好文部長 同 志段味総合整備推進室 近藤室長 他1名計3名

※ 5 1992年締結された生物多様性条約締約国会議COP10が2010年、里山の叡智をテーマに名古屋で開催されます。名古屋はCOP10開催市にふさわしい環境共生型街づくりを目指し奮闘しています。

生きもの係（自然再生・保全活動、調査、環境学習）

代表 林 鷹央 Takuou Hayashi

e-mail：ikimono-gakari@nature.email.ne.jp

HP：<http://www.ne.jp/asahi/nipponia/nippon/>

環音（音楽交流ネットワーク わをん）

代表 広田奈津子 Natsuko Hirota

e-mail：mahaloaina@hotmail.com

HP：<http://www.pc-lifeboat.com/waon/>